

● 日時 2005年3月7日(月) 午前10時～午後1時

● 会場 東京女子医科大学看護学部
第1校舎2F, 123教室

Exhibition Symposium

先端生命医療および工学との融合 による新しい看護開発

Toward a dream

● プログラム

- 10:00 – 10:05 開会の辞 総合司会 久米美代子 (東京女子医科大学看護学部教授)
- 10:05 – 10:15 学長挨拶 高倉公朋 (東京女子医科大学学長)
- 10:20 – 11:20 シンポジウム 座長 金井Pak雅子 (東京女子医科大学看護学部教授)
柳 修平 (東京女子医科大学看護学部教授)

「先端生命医療の現状と看護への期待」

岡野光夫, 工学博士

東京女子医科大学教授・東京女子医科大学先端生命医科学研究所長

「先端生命医療における看護の役割： ヘルスインフォマティックスの活用」

James P. Turley, PhD, RN

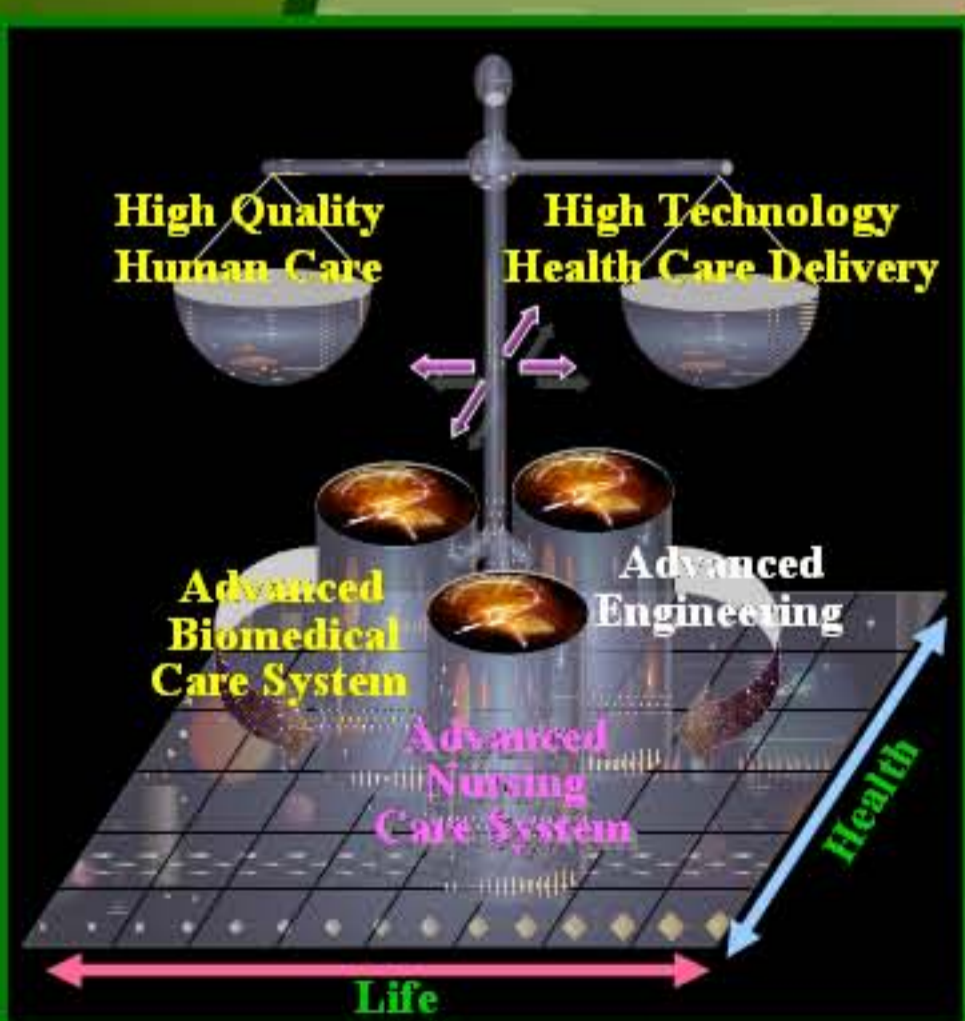
Associate Professor, The University of Texas Health Science
Center at Houston, School of Health Information Sciences

(米国テキサス大学からインターネットワークによる遠隔参加)

(11:20 – 11:30 *Coffee Brake*)

11:30 – 12:50 総合討論

12:50 – 13:00 閉会の辞 尾岸恵三子 (東京女子医科大学看護学部長)



主催 東京女子医科大学大学院看護学研究科委員会

協賛 東京女子医科大学看護学会・東京女子医科大学病院・看護部